

〈学校名〉 深谷市立岡部小学校

〈所在地〉 深谷市普濟寺1305

〈電話〉 048-585-2023

〈本事例の特徴〉

本校は、外国籍の児童が8名在籍している。今年度、本学級児童の中に、両親がペルー出身の保護者がいる。またその児童の祖父が沖縄県からペルーに移住し、その後、日本へ移住してきた経験のある話を聞いた。今年度はペルーが日本からの移住者の受け入れを始めてから、ちょうど150年にあたる記念の年でもあると聞いた。そういった経緯から、その保護者の海外や過去の経験を生かした総合的な学習の時間における国際理解教育の取組について紹介する。

〈具体的な取組や成果〉

○総合的な学習の時間の「国際理解教育」～保護者による文化紹介

・ペルー人の保護者を招きお話をしていただいた。ペルーの公用語であるスペイン語の挨拶の仕方、ペルー人の名前の特徴と日本との違い、ペルーの国旗の紹介、日本とペルーの位置は太平洋で繋がっていること、ペルーのジャガイモが4000種類もあること、ペルー料理、ペルーの民族衣装、山（アンデス山脈）が高く多いこと、ペルーと日本の歴史的な繋がりなど、写真や動画を視聴しながら教えていただいた。

・ペルーの本物の硬貨や紙幣を見せていただき、児童が直接触れさせていただくことができた。

・ペルーの一般的なトウモロコシは日本のものとは違い、色が黒く、実際の黒いトウモロコシを見せてもらった。また、食材としてその黒いトウモロコシは飲料として調理され、児童がペルー料理に興味をもつきっかけとなっていた。

○児童の感想より（一部）

ペルーには、すごくカラフルな山があり、とてもきれいだなと思った。外国旅行に行ったことがないから、ペルーに行ってみたいと思った。ペルーのことを知らない人にペルーの魅力を伝えたい。

ジャガイモが4000種類もあり、黒いトウモロコシをみて驚いた。日本からペルーまで飛行機で丸一日24時間かかると知らなかった。遠いけど、ちょっと行ってみたいなと思った。これから、ペルーの言葉やいろいろな外国語を知りたいと思いました。

日本にはないものがたくさんあった。日本のお金とペルーのお金のデザインが少し違った。

昔の船で日本からペルーまで3か月かかることにびっくりしました。ペルーの世界地図はどんな感じか見てみたい。外国人の方と話すときに英語だけは使えるようにしたい。